

## ギャンブル問題勉強会が発足

# 立場超え情報交換を

R.S.N.代表 西村直之 氏 個人に合わせた支援へ



西村直之 氏  
沖縄市安慶田の新垣病院で開かれた講演会

「ギャンブルの問題の支援に携わる人たちの勉強会」の発足を記念した講演会が8月27日、沖縄市安慶田の新垣病院で開かれた。パチンコ依存問題の電話相談を実施している西原町上原の「NPO法人リカバリサポート・ネットワーク」(RSN)代表で精神科医の西村直之さんが相談事例を挙げながら問題点を解説。「当事者に役立つ支援を見つけた取り組みが大切。そのためにも関係する人たちの立場を超えた情報交換が必要だ」と話し、勉強会の重要性を強調した。

勉強会は、ギャンブル問題を多角的に捉え、当事者を幅広く支援することを目指して発足。講演会には医療や福祉、金融、パチンコ業などさまざまな分野から約30人が参加した。西村さんは「ギャンブリング問題とその支援」「電話相談から見えてきたいま

ざまな事例」と題し講演。「ギャンブル」は賭博と訳され、国によって意味が異なる、多くの偏見や誤解も含まれていると説明。国際的には「ギャンブリング」や「ゲーミング」と表記されている②精神的・身体的な健康に悪い影響を与えている③経済的な害を与える④信用を傷つけている⑤家族や友人といきかいを起こす原因になっている一場合に「問題ギャンブリング」とした。西村さんは「最近はネットゲームで家中で24時間365日できる。スマートフォンなどで持ち歩き、いつでもアクセスできる」と現状を危惧した。

問題・病的ギャンブリングとうつ症状の合併は75%、自殺意図60%、自殺企図20%、DV・虐待20%というアメリカのデータを挙げ「自死対策としてもギャンブリング問題は重要。金銭的破綻はプライベートな問題で自死につながりやすいが表に出にくい。暴力や

ギャンブリング問題の幅広い支援の必要性を訴えた西村直之さん

会員沖縄の発足を記念した講演会が8月27日、沖縄市安慶田の新垣病院で開かれた。パチンコ依存問題の電話相談を実施している西原町上原の「NPO法人リカバリサポート・ネットワーク」(RSN)代表で精神科医の西村直之さんが相談事例を挙げながら問題点を解説。「当事者に役立つ支援を見つけた取り組みが大切。そのためにも関係する人たちの立場を超えた情報交換が必要だ」と話し、勉強会の重要性を強調した。

勉強会は、ギャンブル問題を多角的に捉え、当事者を幅広く支援することを目指して発足。講演会には医療や福祉、金融、パチンコ業などさまざまな分野から約30人が参加した。西村さんは「ギャンブリ

ング問題とその支援」「電

話相談から見えてきたいま

ざまな事例」と題し講演。「ギャンブル」は賭博と訳され、国によって意味が異なり、多くの偏見や誤解も含まれていると説明。国際的には「ギャンブリング」や「ゲーミング」と表記さ

れている②精神的・身体的な健康に悪い影響を与えてい

る③経済的な害を与えてい

る④信用を傷つけている⑤

家族や友人といきかいを起

こす原因になっている一場

合に「問題ギャンブリン

グ」とした。西村さんは「最近はネットゲームで家中で24時間365日できる。スマート

フォンなどで持ち歩き、いつでもアクセスできる」と現状を危惧した。

問題・病的ギャンブリン

gueとうつ症状の合併は75%

自殺意図60%、自殺企

図20%、DV・虐待20%とい

うアメリカのデータを挙げ「自死対策としてもギャンブリング問題は重要。金

銭的破綻はプライベートな問題で自死につながりやす

いが表に出にくい。暴力や

ギャンブ

リング問題の幅広い支援の必要性を訴えた西村直之さん

が大事だ」と語った。

同勉強会は9月から西原

町のリカバリーサポート・

ネットワークで毎月第3土

曜日を開催する予定。参加

強調。「個々の問題に合

た介入が必要で、問題の早

い解決を

することができるがゼロに

減らす事が大事だ」と語った。

支援者が必要なこととし

て「ギャンブリング問題を

元化できない」と語った。

</div